

# 令和2年度 自己評価結果公表シート

あかし幼稚園

## 1、評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
1. 保育者の計画性について	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 4大イベントは日々内容を全員で確認し、行事当日から逆算して日々を積み重ね、子どもの様子に合わせて進められた。</li><li>・ 週に1回全職員で全園児の様子を話し合う事で、保育の反省が出来、次週の課題や職員間の援助が考えられた。</li><li>・ 上のクラスに上がっても困らないように先を考えながら声掛けした。</li></ul>
2. 保育の在り方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 子どもの話をよく聞き、大人からの一方的な押し付けでなく、子どもの意見も取り入れた。</li><li>・ 保育者同士の話し合いの場が設けられていて、こまめに情報交換し、子ども理解に努めた。</li><li>・ 子どものありのままを受け入れている。</li></ul>
3. 保育者としての資質や能力・良識・適性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 皆責任感を持って仕事に取り組んでいる。職員間も公平に関わり、子どもの様子から保育者自身の悩みまで幅広く共有できている。</li><li>・ 自らが余裕を持って過ごせるように意識すると共に、子どもに注意することは自分も正しながら行動している。</li></ul>
4. 保護者への対応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 出来るだけ子どもの様子を伝えたり家庭での悩みも聞くように心がけている。</li><li>・ ライブ配信を行い、行事での様子を保護者に見てもらった。</li><li>・ 守秘義務を徹底すると共に、保護者から言われた事は全職員で共有している。</li></ul>
5. 地域の自然や社会との関り	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 近隣の方々との挨拶は欠かさないように心がけている。</li><li>・ 実習生は可能な限り受け入れ、様々な養成校の先生方との情報交換に努めている。</li><li>・ 卒園生が気軽に足を運べる環境である。</li><li>・ 芋掘りに参加させてもらったり、校区内のお世話になっている方々へ家庭から持ち寄った果物配りを行っている。</li><li>・ 保幼小連絡会への出席。</li></ul>
6. 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 園内の遊具の使い方に関しては、職員一同共通理解している。</li><li>・ 子どもの育ち、要支援の子への関りについては毎日のように話し合った。</li><li>・ 要支援の療育施設に見学に行った。</li><li>・ 要支援の子の保護者、外部支援員さんと話し合いの場を持った。</li><li>・ 職員同士が良く理解し合い、助け合っている。</li></ul>
7. 地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 来園者には優しく声をかけ、挨拶するように努めた。</li><li>・ 電話での問い合わせに丁寧に対応している。</li></ul>

## 2、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

### 【目標】

- ・充実した遊びと生活、そこから繋がる課題の中で、主体的に活動する子どもをはぐくむ。
- ・家庭との連携を図ると共に、支え合える環境を整えていく。また、地域にとっても開かれた親しみやすい園作りを推進する。
- ・研修・反省に取り組みながら、深い子ども理解に努める教職員の育成を図る。

### 【総合的な評価】

- ・職員の保育経験年数も上がり、園での保育計画・行事の進め方等がスムーズになった。また、子ども理解も深まり、クラスの枠を超えてアドバイスしたり、援助したり・・・が、自然な形で進められたように感じる。
- ・保護者対応も細やかに行っているつもりだが、公平さに欠けていた部分もあったようで、反省している。
- ・園庭の遊具で子どもがケガをしたこともあり、危険が潜んでいる遊具に対する職員の意識が低かったと思わされた。今後は見回り等強化したい。
- ・見学者に対して、又園庭開放時は、職員みんなが笑顔で温かく迎えるように心がけた。しかし、コロナ禍で地域の中に開かれた園として何かを行う事が難しかった。次年度は少しずつでも何か発信していけたらと思っている。
- ・積極的に職員が外部の研修に参加するように促すと共に、園内研修も工夫し、各自が専門知識・技術向上に努める。

### 3、これから改善したいこと

評価項目	具体的な取組状況
1. 保育者の計画性について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、一人一人の成長の違いへの理解を深め、週単位だけでなく月単位での保育計画を意識して保育する。</li> <li>・園の教育理念、教育方針を他者にきちんと説明できるようにする。</li> </ul>
2. 保育の在り方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの子どもに合った関わり方を理解する。</li> <li>・子どもの育ちについて勉強すると共に、深く遊び込めるような保育室のセッティングを心がける。</li> </ul>
3. 保育者としての資質や能力・良識・適性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は自分自身の健康管理にも気を配り、専門家としてのスキルアップに努める。</li> <li>・運営面では、率先して他の職員を手伝っていく。</li> </ul>
4. 保護者への対応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「苦情がある場合は遠慮なく職員へ」と保護者へ周知する。</li> <li>・今後は、自家用車での送迎の保護者とも多く会話を持てるように意識する。</li> <li>・公平にすべての保護者と話す。</li> <li>・自分がきちんと理解した上で相手に丁寧に伝える。</li> <li>・クラスや子どもの様子の現状、過程、経過報告を忘れずに行う。</li> </ul>
5. 地域の自然や社会との関り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は地域の自然との関りを指導計画に入れていく。</li> <li>・コロナだが工夫して園外に出ていく。</li> <li>・迎えの車の長時間駐停車、反対車線への駐車。</li> <li>・小学校との連携方法。(もっと深めるには?)</li> </ul>
6. 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し積極的に研修に出かけよう。</li> <li>・園内遊具の安全管理不足。</li> <li>・うんてい、すべり台、鉄棒の近くに必ず職員がついておく。</li> </ul>
7. 地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て講演会の開催 (コロナが落ち着いたら)</li> </ul>

### 4、学校関係者の評価

- ・自然とのふれあいは、園内でのトマトや花の栽培も有効だと思う。育てると共に、絵を描く等の活動に繋げるとよいのでは。
  - ・子育ては大変な事なので、人と繋がっていないとやっていけない部分が多々ある。が、現実問題ではコロナ禍の為思う様に出来ず園としてももどかしいところだろう。
  - ・特に子育て不安が強い保護者に対しては、個別で声をかけてあげると良いと思う。
  - ・世の中が小さな子どもに対して心が狭くなっているのでは、苦情を言ってくる人が地域にいらっしゃるの普通のこと。何か事件になってはいけないので、保護者に周知しておくほうがよいのでは。
  - ・「みんなちがってみんないい」を大事にしてほしい。
- また、それがどのように実践されているか繰り返し伝えてほしい。
- ・これまでのあかしの良さをなくさないで引き続きがんばってほしい。

\*2021年度学校評価委員 (4名 敬称略)

佐々木英治 (あかし幼稚園理事)

水田友香 (あかし幼稚園評議員)

畑中真生 (元あかし幼稚園母の会会長)

中島まり恵 (元あかし幼稚園役員)